

授業科目 生徒指導・進路指導論

| | | | | | |
|---|-------------------------------|-----------|---|-----------|----------------------|
| 【担当教員名】 遠山 孝司 | | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 看護（養護教諭コースのみ必修選択） |
| | | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 |
| | | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 【概要・一般目標：G10】 学習指導要領にも明示されているように、学校はその教育活動の全体を通じ、個々の生徒の能力、適性の把握に努め、人格の調和的な発達を図るとともに、社会人・職業人としての健全な資質と将来の生活における自己実現能力を養うことが期待されている。このような目標を達成するために必要とされる学校における生徒指導と進路指導の基礎、基本を理解し、生徒指導、進路指導上の諸問題の解決に至るための対応を理解することを目的とする。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SB0】 1. 生徒指導、進路指導についての意義を理解し、児童生徒の将来のQOLを高めるために教員としてどうあるべきかを考え、使命感を持って児童生徒に接することができるよう人間性を身につける 2. 青年期の特徴を理解し、生徒指導の重要性と問題への対応策を理解し、生徒指導ができる教員としてのリーダーシップ、感性、問題解決能力を身につける 3. 青年期の特徴を理解し、進路指導の重要性と問題への対応策を理解し、進路指導ができる教員としてのリーダーシップ、感性、問題解決能力を身につける | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | SB0 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | 生徒指導・教育相談とは | | | 1 | 講義と小レポート |
| 2 | 進路指導とは | | | 1 | 講義と小レポート |
| 3 | 生徒指導・進路指導の基礎 | | | 1 | 講義と小レポート |
| 4 | 生徒指導と問題行動1（問題行動とは？現在の問題行動の傾向） | | | 2 | 講義と小レポート |
| 5 | 生徒指導と問題行動2（反社会的な問題行動） | | | 2 | 講義と小レポート |
| 6 | 生徒指導と問題行動3（非社会的な問題行動） | | | 2 | 講義と小レポート |
| 7 | 不登校 | | | 2・3 | 講義と小レポート |
| 8 | 自殺、自傷、虐待への対応 | | | 2 | 講義と小レポート |
| 9 | キャリア発達支援 | | | 3 | 講義と小レポート |
| 10 | 進路適性と進路選択 | | | 3 | 講義と小レポート |
| 11 | カウンセリングの基礎理論 | | | 1 | 講義と小レポート |
| 12 | アセスメントの基礎理論 | | | 1 | 講義と小レポート |
| 13 | 体罰と懲戒 | | | 1 | 講義と小レポート |
| 14 | 生徒指導の実践 | | | 2 | 講義と小レポート |
| 15 | 進路指導の実践 | | | 3 | 講義と小レポート |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | なし | | | |
| 参考書 | | 生徒指導提要 | 文部科学省 | 教育図書 | 2010・290円 |
| その他の資料 | | 資料は適宜配布する | | | |
| 【評価方法】 出席状況・講義内のミニレポート・期末試験などを総合して評価する。講義内容を覚えた量ではなく、講義内容を活かして考え、表現した内容を評価する。 | | | 【履修上の留意点】 初回授業時に周知する。 資料ではあるが教員採用試験への出題頻度と安価である事を考慮し、「生徒指導提要」を購入することを強く奨める。 | | |